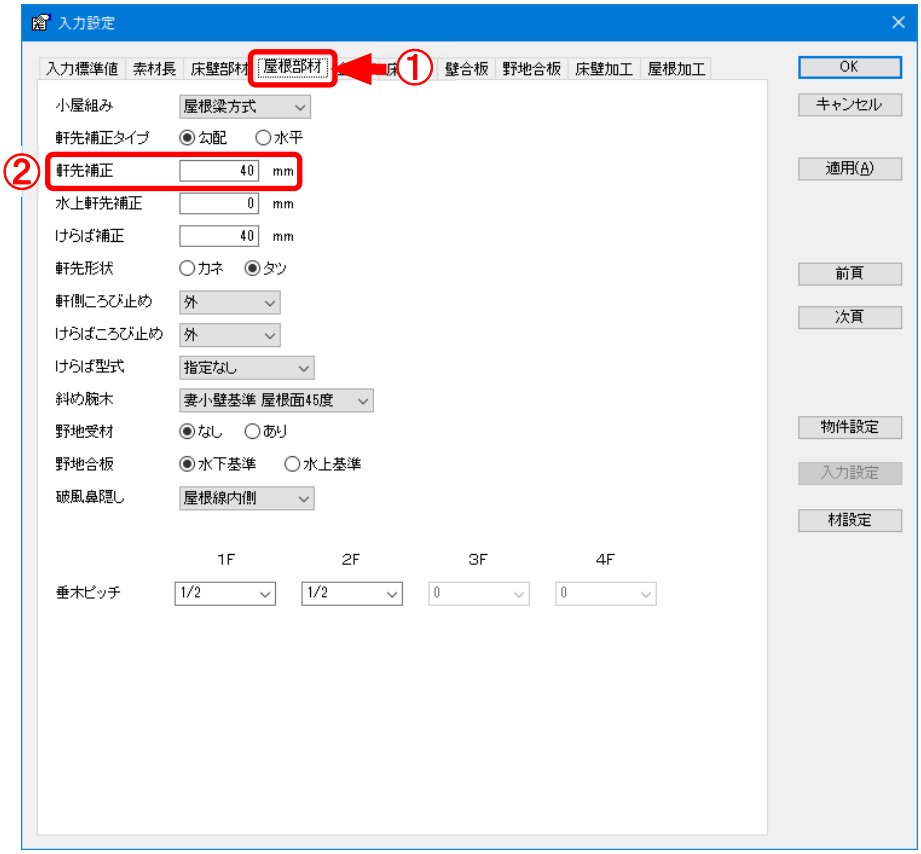
初期仕様―入力設定―屋根部材



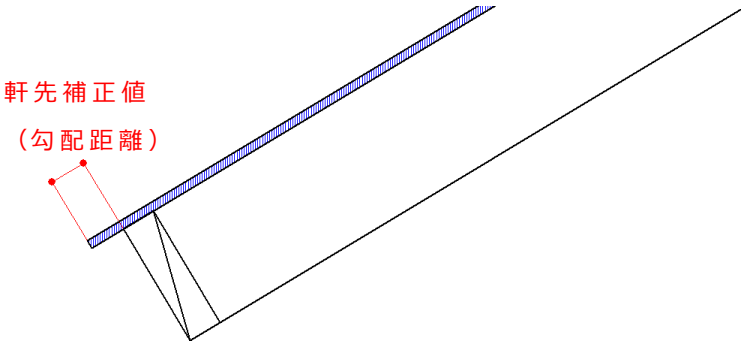
屋根部材では、屋根材関連の部材生成条件を設定します。

① 〔初期仕様－入力設定〕の「屋根部材」をクリックします。

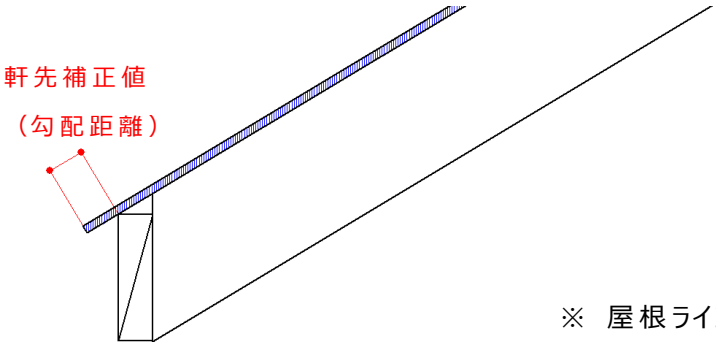
初期仕様―入力設定―屋根部材

② 軒先補正：野地合板の軒先補正値を設定します。
屋根線からの補正値となります。

＜カネ勾配＞

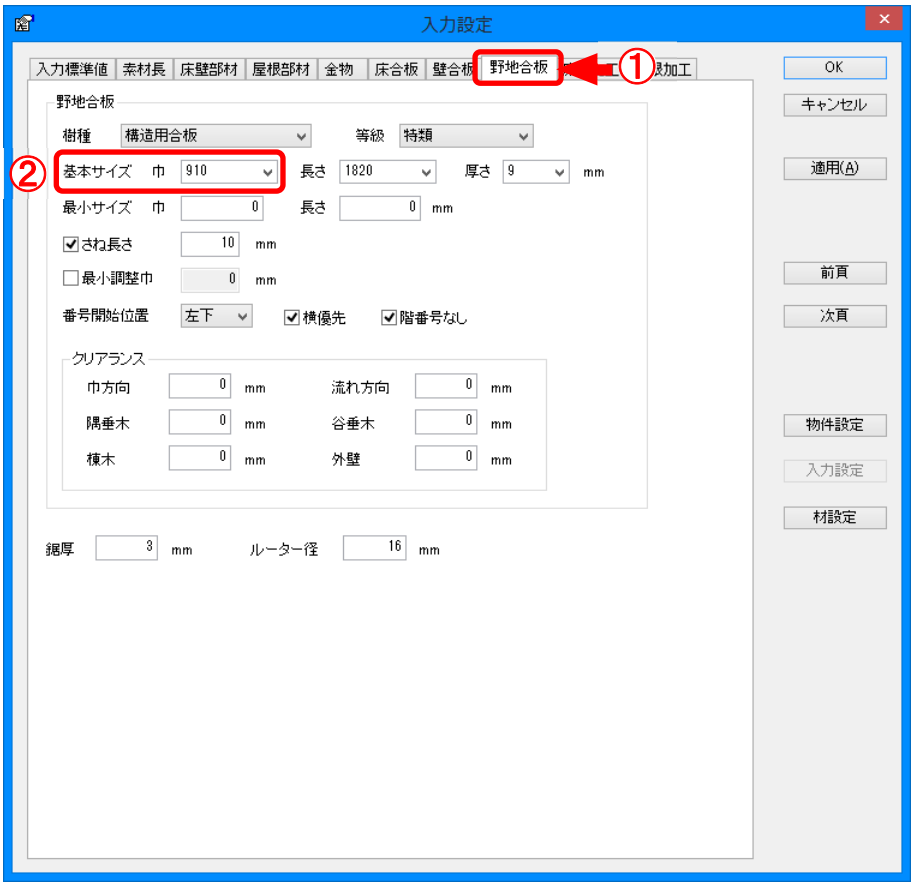


＜立水勾配＞



※ 屋根ラインが基準になります。

初期仕様―入力設定―野地合板



野地合板では、使用する野地合板の詳細設定を行います。

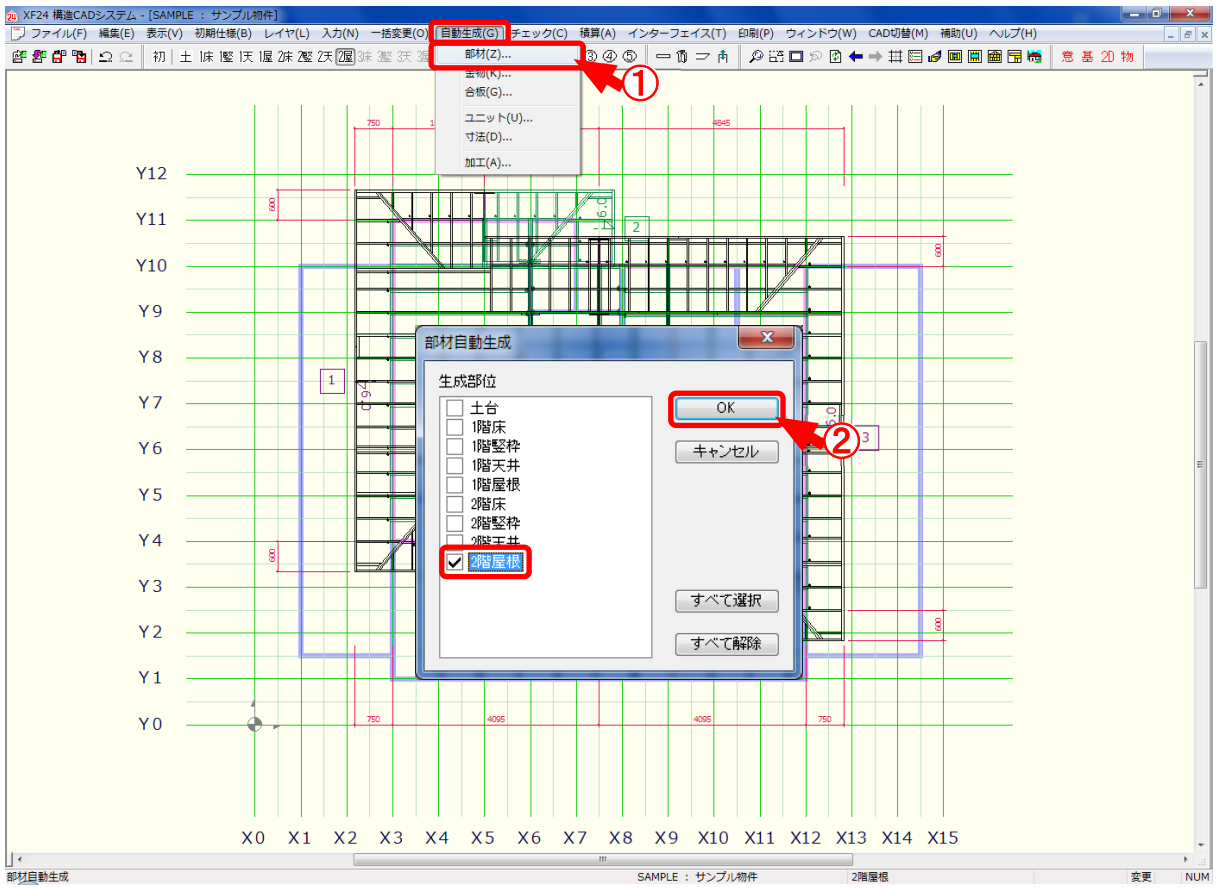
① 〔初期仕様－入力設定〕の「野地合板」を選択します。

② 野地合板：「樹種」「等級」「巾」「長さ」「厚さ」「さね長さ」を設定します。

※ 野地合板巾の設定をみて、けらば垂木のピッチが変わります。
「最小サイズ」を設定すると、設定した値より小さいサイズの野地合板が配置されている場合に、〔自動生成－加工〕実行時に警告が表示されます。

合板プレカットが無い物件に関しても、部材生成時や垂木の下欠き寸法などに影響が出るため、必ず設定してください。

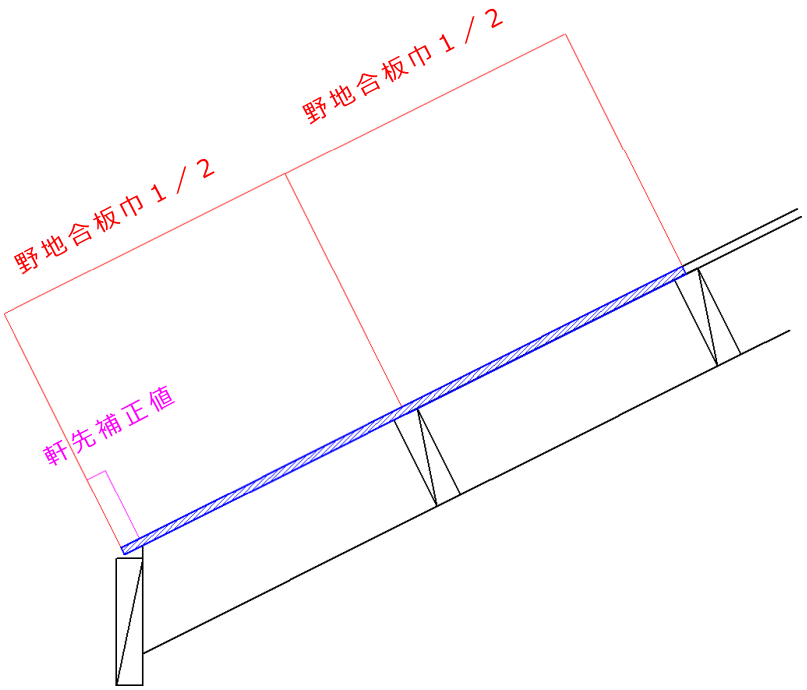
自動生成―部材／屋根



部材／屋根では、屋根部材生成を自動で行います。

① 〔自動生成－部材〕をクリックします。

② 「部材自動生成」の画面が表示されます。
生成部位を選択し、「ＯＫ」をクリックします。

「すべて選択」「すべて解除」をクリックすると、全部位を選択、解除できます。
チェックボックスをクリックすると、部位ごとに選択もできます。

※ けらば垂木生成基準は、〔初期仕様－入力設定〕の「屋根部材－軒先補正」及び野地合板巾１／２を基準に生成されます。